

京都市小学校教科書選定委員会 答申

図画工作科について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。
- 2 習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。
- 3 児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。
- 4 表現及び鑑賞の活動を通して、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力の育成に向け、造形的な見方・考え方を働かせた学習活動が展開しやすいこと。
- 5 表現と鑑賞の関連が図られ、〔共通事項〕を意識した指導計画が作成できるよう工夫・配慮されていること。
- 6 題材構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。
- 7 基本的人権の尊重及び道德性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道德教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。
- 8 表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

図画工作科

調査研究の結果の概要

■開隆堂出版「図画工作」

各題材に教科の目標に基づく「学習のめあて」が示され、視覚や触覚等の感覚を働かせながら造形的な視点について理解でき、感覚や材料・用具に触れる行為を大切にしたい題材を発達段階に応じて設定されている。また、用具の安全な使い方を題材ページや巻末で取り上げることで、安全に配慮しながら、低・中・高学年と経験を重ねて、基礎・基本的な知識・技能の内容の習得を図るための工夫・配慮がされている。

題材においては、材料や活動場所、個人活動・グループ活動等をある程度選択できるよう配慮されている。「ゆらゆらひらひら～」など擬音を用いた表現や、キャラクターの使用、材料の多様な活用方法を掲載するなど、子どもの興味を引き付ける紙面になっており、感性や想像力を十分に働かせ、自分なりの意味や価値をつくり出す創造性を育成する活動につながるようよく工夫されている。一方、児童がどのように表現するのかを考えるうえでの手がかりや対話のヒントとなる、事例作品への工夫や思いのコメント、活動中の児童の対話内容などの掲載量や具体的な内容が乏しく、思考力・判断力・表現力等の育成につながる配慮が十分とは言えない。

「みんなのギャラリー」（全学年）や「つながる造形」（中・高学年）では、伝統文化や行事、工芸品が表現と鑑賞の両方の視点から紹介されていたり、作品を友達と鑑賞し、話し合ったりすることを促すなど、表現と鑑賞を一体的に扱えるように工夫されており、また、ひとつの材料を多様に取り扱う工夫や、新たな発想に繋がるよう視点を変えることを促すなど、感性や想像力を十分に働かせ、自分なりの意味や価値をつくり出す学習活動が展開しやすいように工夫されている。

材料を繰り返し使用するなど、児童が学習の中でSDGsの活動や持続可能な社会の創造などを意識しやすい内容や発展学習が示され、社会問題を意識できるよう配慮がなされている。

■日本文教出版「図画工作」

各題材に教科の目標に基づく「学習のめあて」が示され、児童が学習に取り組みやすいよう、写真や子どものつぶやきが学習過程に沿って多く掲載されている。題材ごとに「表現のヒント」及び「鑑賞のヒント」が設けられ、形や色などを意識させ、造形的な特徴を理解することができるよう示されていたり、各学年に設定されている「図工のみかた」のページでは、身の回りにある形や色などを造形的な見方・考え方で捉えることを促す手立てとなっており、優れている。また、用具の安全な使い方を題材ページや巻末で取り上げ、安全に配慮する態度の育成を図っており、基礎・基本的な知識・技能の内容の習得を図るための工夫・配慮がされている。

掲載されている活動中の児童の様子や作品の写真等には、具体的な表現方法や工夫などが多数掲載されており、児童が造形的な視点をもつことへの手がかりとなっている。また、高学年では自分

の考えを可視化し、形や色で表したいことを整理しながら、発想・構想を広げられる「シンキングツール」の活用が示され、思考力・判断力・表現力等の育成につながる工夫として優れている。

日常生活の中で目に触れる身近で親しみのあるものや、発達段階に応じた様々な図版等を掲載し、感じ方を広げたり深めたりする題材が全学年を通して多様に設定され、身近なものや出来事を造形的な視点で捉え、自分なりの意味や価値をつくりだせる題材が用意されており、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力の育成を目指した学習活動が展開しやすい。また、発想を可視化する実際のアイデアスケッチを提示するなど、創造性を育成する一助となり、優れている。

各題材では、「絵・鑑賞」「工作・鑑賞」など、表現と鑑賞とを一体として扱い、友達と作品を鑑賞し合ったり、自身の作品をじっくり鑑賞・表現する児童の様子が示されたりするなど、表現活動と鑑賞活動が往還する学習過程が提示され、表現と鑑賞の関連を図る手立てが示されており、優れている。

自然や資源を大切にする学習内容が設定されているなど、児童が学習の中でSDGsの活動や持続可能な社会の創造などを意識しやすい内容や発展学習が示され、社会問題を意識できるよう配慮がなされている。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

図画工作科

観点別・視点別評価

「◎」優れている 「○」標準的 「△」やや劣る

選定の観点		選定の視点		開隆堂	日本文教
1	基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。	1	感覚や行為を大切にした指導の充実	○	○
		2	自分の思いを生かした創造的な活動過程の重視	○	○
		3	〔共通事項〕の内容を意識した指導への配慮	○	◎
		4	安全に対する配慮を踏まえた材料や用具の活用	○	○
2	習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。	1	形や色などを基にした発想や構想ができる題材の内容	△	◎
		2	発達段階を踏まえた、感覚や行為などに基づく能動的な活動の重視	○	○
		3	材料の種類や量、活動の場や活動時間等の環境への配慮	○	○
3	児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすい工夫・配慮されていること。	1	探究意欲を高め、主体的・対話的に学ぶための工夫	△	○
		2	発展的な学習活動を促すための工夫	○	○
		3	ICT機器を活用するなど、個別最適な学びと協働的な学びを展開するための工夫	○	○
4	表現及び鑑賞の活動を通して、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力の育成に向け、造形的な見方・考え方を働かせた学習活動が展開しやすいこと。	1	感性や想像力を十分に働かせる活動の充実	◎	○
		2	材料や作品、出来事などを、造形的な視点で捉えることができる内容と展開の工夫	○	○
		3	自分なりの意味や価値をつくりだす創造性の重視	○	◎
5	表現と鑑賞の関連が図られ、〔共通事項〕を意識した指導計画が作成できるよう工夫・配慮されていること。	1	表現と鑑賞の関連を図る手立ての工夫	○	◎
		2	形や色などの捉え方やイメージを大切にした指導	○	○
6	題材構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。	1	題材構成の系統性・発展性	○	○
		2	他教科や教育課題等との関連	○	○
		3	他校種との接続	○	○
		4	家庭・地域との連携	○	○
7	基本的な人権の尊重及び道德性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。	1	人権教育の推進	○	○
		2	道徳教育の推進	○	○
8	表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。	1	文章や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさの工夫	○	○
		2	ユニバーサルデザインの視点	○	○
		3	装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	○	○
		4	用紙、インク等の環境面への配慮	○	○

【図画工作】観点別資料

【選定の観点1】

基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。

発行者名	
9 開隆堂	1 1 6 日本文教出版
○各題材に教科の目標に基づく「学習のめあて」が示され、児童が目的をもって学習に取り組みやすいよう配慮されている。児童が視覚や触覚等の感覚を働かせながら造形的な視点について理解できるよう、感覚や材料・用具に触れる行為を大切にしたい題材が扱われ、低・中・高学年と経験を重ねていけるような関連題材が配置されている。 ○児童が活動への思いやどんな工夫をしたかをつぶやいている様子が掲載されており、材料や用具を活用する技能を習得し、自分の思いを生かした創造活動を促す手立てとなるよう工夫されている。 ○キャラクターのセリフや「学習のめあて」が〔共通事項〕につながる活動への手立てとなっており、自分の感覚や行為を通して、造形的な特徴を理解することができるよう工夫されている。また、『ひらめきショートチャレンジ』のページが設けられ、身の回りにある形や色などを造形的な見方・考え方で捉えることを促すよう工夫されている。 ○巻末「学びの資料」に各学年に応じた用具・材料の特徴や使い方がまとめられ、児童の技能の基礎を支え、自分の思いをもとに活動を充実させることができるよう配慮されている。用具の扱い方に順を追って習熟するなど、確実に技能を積み上げていけるよう題材が配列され、題材ページの「安全」及び『用具や材料を知ろう』において、用具の安全な使い方や、活動場所の安全を確保することなどを示し、安全に配慮する態度を養うことができるよう工夫されている。	○各題材に教科の目標に基づく「学習のめあて」が示され、児童が目的をもって学習に取り組みやすいよう配慮されている。また、児童が視覚や触覚等を使って材料や用具に触れる題材が設定され、形や色に主体的に関わることを促すような写真が多く掲載されている。 ○児童が活動している写真や作品には、形や色などに着目して感じたことや工夫したことなどが囲みを強調したセリフが学習過程にそって添えられており、材料の造形的な特徴を理解したり、用具を活用したりして、自分らしく表現できる知識・技能が身に付くよう工夫されている。 ○題材ページに示された「特に大切なめあてのヒント（表現のヒント）」及び「鑑賞のヒント」に設定されている、形や色などを児童に意識させる多くの配慮が〔共通事項〕につながる活動を誘発し、自分の感覚や行為を通して、造形的な特徴を理解することができるよう工夫されており、優れている。また、『図工のみかた』のページが設けられ、身の回りにある形や色などを造形的な見方・考え方で捉えることを促す手立てとなる等、優れている。 ○巻末「材料と用具のひきだし」に、各学年に応じた用具・材料の特徴や使い方がまとめられ、用具を扱う際の留意点や安全に配慮すべき点は囲みで強調するなど工夫されている。用具の扱い方に順を追って習熟するなど、確実に技能を積み上げていけるよう題材が配列され、また、片付け方についても題材ページごとに繰り返し記載され、安全に配慮した技能の習得につながるよう工夫されている。

※〔共通事項〕：「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通じて、下記の2点を身に付けることができるよう指導する。

- ①自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。
- ②形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。

【選定の観点2】

習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていると。

発行者名	
9 開隆堂	1 1 6 日本文教出版
○習得した知識・技能を活用しながら、友達とアイデアを出し合い活動する、問題解決的な学習が題材を通して展開されている。児童が形や色などを基に発想や構想の力を働かせている場面の写真や、その際のつぶやき、作品に込めた思いが示されているが、掲載量がやや少なく、児童がどのように造形的な見方・考え方を働かせながら発想・構想をし、表現するのかを考えるうえでの手がかりとしては弱い。 ○身近な材料を使った題材から始まり、感覚や行為を通して捉えた形や色などの造形的な特徴を活かして表現したいことを発想・構想する題材が、発達段階に応じて設定されており、工夫されている。 ○表現及び鑑賞の活動においては自分の思いに合わせて材料や活動場所、さらには個人活動なのかグループ活動なのかをある程度選択できるようになっており、使った題材を次の題材でも活用できるように題材配列が工夫されている。	○活動する児童のセリフには、形や色などについての具体的な気付きが掲載されており、造形的な視点をもつことへの手がかりとなっている。また「図工のみかた」では児童自身が形や色を探し出すことができるよう発想や構想・表現のヒントが提示されている。高学年ではシンキングツールの活用例が示され、自分の考えを可視化し、形や色で表したいことを整理しながら、発想・構想を広げられるように工夫されており、優れている。 ○感覚や行為を通して気付いた造形的な特徴をもとに、創造的に発想や構想を行うことのできる題材が発達段階に応じて掲載されている。また、工作に表す題材においては、「つくり方」で仕組み等が掲載されているページもあり、つくり方を理解した上でどのように表していきたいか見通しをもって活動できるよう工夫されている。 ○使用する材料・用具についてのイラストが分かりやすく掲載されているうえ、身近な物を材料として使用する題材が多く、活動しやすい。また、1対1の交流、グループ活動、広々とした場所での活動など、多様な学習活動が設定され、作品から感じ取った造形的なよさを友達と対話・交流することで、活動や作品を更に工夫していけるようになっている。

【選定の観点3】

児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。また、ICT 機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。

発行者名	
9 開隆堂	1 1 6 日本文教出版
○巻頭見開きで全題材を写真で紹介しており、1年間の学習内容が見通せることで、児童の活動への意欲を高めるようにしている。事例作品には作者である児童の思いや工夫が会話文で示されており、児童が表現したいことや表現の仕方について考える手がかりにはなっているが、情報量が少なく対話的な学びの手立てとしては工夫が弱い。 ○将来の夢を絵や形に表す題材や、校舎を明るく彩る活動が掲載されており、図画工作科で学んだことを生かして学校生活をはじめとして、自分の周りを楽しく、豊かにするため、自分の思いや願いを表現・創造しようとする態度を醸成するよう工夫されている。また、「みんなのギャラリー」（全学年）や「つながる造形」（中・高学年）では、造形的な見方・考え方を働かせて、地域に密着した行事や伝統文化、国際交流について見たり感じたりすることで、図画工作科と豊かな生活文化との関わりを児童が認識できるよう工夫されている。 ○ICT機器を活用した題材や活用の仕方を示すページが低学年より掲載されるとともに、ICT機器を活用して協働的に学びを広げる姿が写真などで示されている。また、題材ごとにQRコードが用意され、個に応じた学びが展開できるよう工夫されている。	○各学年に「学習の進め方」が示され、学習の流れが捉えやすくなっている。題材ページに示された「鑑賞のヒント」は児童が活動や作品を見つめて表し方を考え、表現方法などを試行錯誤する姿に繋がると共に、掲載されている写真とセリフには、友達と見方や感じ方を積極的に交流する活動を促すなど工夫されている。 ○将来の自分を思い描いた題材やこれまでの学校生活を振り返り自分にできることを考えるような題材が用意されている。また、活動や学びを家庭でも生かしたり、作品を通して地域や社会とつながる活動や題材が「広がる図工」にて紹介されており、習得した知識や技能などを発展的に活用したり、日常的に造形的な視点を取り入れたりできるよう工夫されている。 ○一つの題材の中で表現方法が複数示され、児童が表し方を選んだり、新しい表し方を試したりすると共に、QRコードで用具の利用方法が確認できるなど、主体的な学習につながるよう配慮がなされている。タブレット端末の活用し、友達と話し合いながら協働的に発想・構想を広げたり鑑賞したりする活動の工夫の事例が、多くの題材を通して示され、工夫されている。

【選定の観点4】

表現及び鑑賞の活動を通して、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力の育成に向け、造形的な見方・考え方を働かせた学習活動が展開しやすいこと。

発行者名	
9 開隆堂	1 1 6 日本文教出版
○「だいすき！ワクワクペーパー」（1・2年生上巻、造形遊び）「こんにちはむぎゅたん」（1・2年生下巻、立体）など、感性や想像力を働かせながら材料と関わり、造形的なよさを感じたり、表し方などについて考えたりできる題材が設定されている。また、活動の様子を「ゆらゆらひらひら～」など大きな文字の擬音で示したり、子どもの興味を引きつける作品が掲載されていたり、教科書を見ることで想像力を働かせ、自分の表現につながるよう紙面の工夫が見られ、優れている。 ○「紙が奏でる形と色のハーモニー」（5・6年生下巻）など、材料を造形的な視点で捉えながらイメージをもち、表現する過程で、造形的な見方・考え方を働かせた学習活動が展開しやすいよう工夫されている。中学年・高学年では、鑑賞の題材として美術作品を扱ったものが多く、自然や身近なものを鑑賞する活動や作品数がやや少ない傾向がみられる。 ○段ボールなど、材料を濡らしたり剥がしたり丸めたりして得られた形や色からの発想・構想への手がかりや、箱や画用紙に穴をあけ、中を覗いて見えたものや風景から発想を広げたり、視点を変えてさらに発想を広げ、表現につなげるなど感性や想像力を働かせ、自分なりの意味や価値をつくりだす創造性を育成する手助けとなる投げかけがあり、工夫されている。	○「図工のみかた」のページには、発達段階に応じた形や色などをテーマにした様々な図版が掲載されており、身の回りの身近なものから形や色に着目し、感性や想像力を働かせた活動ができるよう、工夫されている。 ○「もようから見つけて」（5・6年生下巻）など、日常生活の中で目に触れる持ち物や建造物・自然の造形など、身近で親しみのあるものの形や色に着目しながら、見方や感じ方を広げたり深めたりする題材が全学年を通して多様に設定され、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成する学習に取り組みやすいよう工夫されている。 ○表現及び鑑賞の活動においては、子どもが感性や創造性を発揮して活動している写真が掲載されており、身近なものや出来事を造形的な視点で捉え、自分のイメージを基に表現し、自分なりの意味や価値をつくりだす題材が用意されており、工夫されている。また、掲載されたアイディアスケッチ等は具体的なアイディアの膨らませ方をイメージさせ、創造性を育成する一助となり、優れている。

【選定の観点5】

表現と鑑賞の関連が図られ、〔共通事項〕を意識した指導計画が作成できるよう工夫・配慮されていること。

発行者名	
9 開隆堂	1 1 6 日本文教出版
○様々な地域の伝統文化や行事、工芸品が表現と鑑賞の両方の視点から紹介されていたり、低学年では児童の好きなものの絵を描いた後、友達と話し合ったり発表を行ったりする題材や、高学年の墨を扱う題材にて、墨での様々な表現を試した後、水墨画の鑑賞を複数で行う活動を例示されているなど、全学年を通じて表現と鑑賞を一体的に扱えるよう、題材の配列が工夫されている。 ○〔共通事項〕に基づく「学習のめあて」に形や色、表現方法について記載した項目が設定されていたり、図画工作科の見方・考え方を広げる「小さな美術館」のページが設定されていたりするなど、児童が自分の感覚や活動を通して形や色などの捉え方を理解し、イメージや発想を大切にしながら、取り組めるよう配慮されている。	○題材ページに「絵・鑑賞」「工作・鑑賞」と分野が示され、「学習のめあて」にも「鑑賞」について記載し、表現と鑑賞とを一体として扱い、関連付けて学習できるように配慮がなされている。また、表現の活動においても、友達と協力し合う姿や、自身の作品をじっくり鑑賞したり、表したいことをどのように表すのかを思案する児童の様子が写真で掲載されており、表現活動と鑑賞活動が往還する学習過程に取り組みやすいという、表現を深めたり広げたりする、手立てとなる工夫がされており、優れている。 ○形や色などを捉えている児童のつぶやきが、各ページにセリフとして掲載され、子ども達が活動していく上でのヒントとなるよう工夫されている。また身近なものを造形的な視点で捉え、児童が多様な形や色に出会うページとなる「図工のみかた」が各学年に設けられており、造形的な視点で捉えるよさや面白さを感じ取れるよう工夫されている。

【選定の観点6】

題材構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。

発行者名	
9 開隆堂	1 1 6 日本文教出版
○感覚を働かせながら身近な材料や扱いやすい用具と関わる題材が低学年で充実していることで、中・高学年で扱う多様な材料や用具が低学年時の経験を生かしながら活用することができ、題材構成の系統性・発展性に配慮されている。 ○各題材に「あわせて学ぼう」として他の教科名とともに具体的な活動を想起させる文章が示され、教科横断的な学習が進められるよう構成されている。また外国の児童の作品紹介、使用する材料を繰り返し使用するなど、児童が学習の中でSDGsの活動や持続可能な社会の創造などを意識しやすい内容や発展学習が示されているなど配慮がなされている。 ○1・2年生上巻では幼児期の活動経験が、これから学ぶ図画工作科につながっていることを伝えるページが設定されている。また5・6年生下巻では「未来へつながる図画工作」としてこれまでの学習を振り返ると共に中学校以降の学習に生かすことができるよう工夫されている。 ○「つながる造形」のコーナーにて、地域の美術館での取組や地域の伝統文化に触れる様子とともに、行事・工芸品が取り上げられており、地域との連携が意識されている。また、裏表紙に、「保護者の皆様へ」として、保護者へのメッセージが掲載されている。	○発達段階に応じてテーマを変えながら同じ材料を取り上げることで、学習した経験や技能を生かしつつ、新たな気付きや視点を加えた発展的な活動がしやすいなど、題材の配列が工夫されている。 ○各題材に「つながる学び」を示し、教科横断的な学習が進められるよう構成されている。題材に自然や資源を大切にする学習内容が設定されていたり、題材に使用する材料に環境に配慮したものが使用されていたりするなど児童が学習の中でSDGsの活動や持続可能な社会の創造などを意識しやすい内容や発展学習が示されているなど配慮がなされている。 ○1・2年生上巻の巻頭にて、幼児期の造形活動の写真を掲載し、小学校の図画工作科とつながっていることを児童に意識付けている。また、5・6年生下巻の巻末では、これまでの学習の振り返りを促し、中学校への接続が図られている。 ○巻頭に「保護者の方へ」とし、保護者へのメッセージが掲載され、作品などを家庭で共有したり、地域の人や中学生と交流したりする場面や、日本各地の伝統文化が掲載されているなど、家庭・地域との連携について配慮されている。また、学んだことを家庭や地域、社会につなげることでより子どもが主体となって学びを深めることを意図した題材が設定されているなど、工夫されている。

【選定の観点7】

基本的人権の尊重及び道德性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道德教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。

発行者名	
9 開隆堂	1 1 6 日本文教出版
○他者と協働して表現する活動を行っている場面や、地域の人々とのつながりを大切にしたい内容が掲載され、互いの思いや意見を尊重することの大切さに気がつくよう配慮されている。また、ピクトグラムの意義やユニバーサルデザインの商品などが紹介され、人権教育の推進に向けて配慮がなされている。 ○道德教育と関連を図った題材が用意され、「あわせて学ぼう」にて表示することで、道德教育での学びとの関連を想起しやすいよう配慮がなされている。また、高学年においては平和学習や社会問題への関連を図ることができる図版や事例が掲載されており、工夫されている。	○協働的に取り組める題材設定があり、互いの作品や活動について話し合いよいところを認め合う様子が多く掲載されている。また、教科書の冒頭で「失敗を恐れないこと」（3・4年生上巻）や「互いの思いや考えの違いのよさ」（5・6年生上巻）を伝えるメッセージがあり、一人ひとりの子どもの人権を大切にしながら図画工作の学習が進められるよう工夫されている。また、表紙裏の「つながる図工」では、図画工作を通して様々な人と関わる内容が記載されており、人とのつながりを大切にしながら学習を進められるよう配慮されている。 ○道德教育と関連を図った題材が用意され、「つながる学び」にて表示することで、道德教育での学びとの関連を想起しやすいよう配慮がなされている。また、高学年においては、平和学習や人権学習との関連を図ることができる図版も掲載され、工夫されている。

【選定の観点8】

表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名	
9 開隆堂	1 1 6 日本文教出版
○A4判サイズ、豊富なイラストやマークでレイアウトが工夫されている。 ○CUD・UDフォントが採用されており、色覚特性や特別支援教育、インクルージョン&ダイバーシティ教育の専門家による後閲がされ、ユニバーサルデザインに配慮されている。 ○堅牢性が高く、開きやすい造本となっている。 ○環境に配慮した用紙やインキを使用している。	○A4判サイズ、見やすいようにレイアウトが工夫されている。 ○CUD・UDフォントが採用されており、学年に応じて文字の大きさが調整されている。学色覚特性や特別支援教育の専門家による後閲がされ、ユニバーサルデザインに配慮されている。 ○堅牢性が高く、開きやすい造本となっている。 ○植物油インキと再生紙を使用し、環境に配慮している。

※CUD：カラー・ユニバーサル・デザイン、UDフォント：ユニバーサル・デザインフォント